

0 理念

2005年度以降に設定した目標

2009年に、総合政策学部、総合政策学科に設けられていた3コース、すなわちエコロジー政策コース、都市政策コース、国際発展政策コースのなかから、都市政策コースおよび国際発展政策コースを学科として独立させ、総合政策学科、都市政策学科、国際政策学科、メディア情報学科の4学科体制に移行する。こうした2学科増設に伴い、学部全体の再編を行う。

進捗状況報告

学部の理念、目的、教育目標については、2003年度に設定した通りであり、その目標達成に関しては、現在のところ順調に推移していると思われる。現在、2009年に新たに設置予定の都市政策学科および国際政策学科の開設準備を進めているところである。さらに、新たな2学科の開設に伴い、学部全体の教育体制をさらに充実させるため、カリキュラム、人事、設備などの様々な方面で検討を進めているところである。

学内第三者評価

2003年に設定され、2005年度にも積極的に推進するとされた「キャンパス・ミーティング」は優れた試みであり、学部全体として改善への取組は評価できる。2005年度以降に設定した目標として、「2学科増設」とそれに伴う「全学部体制の再編」が掲げられているが、その具体的な内容を示すことが望まれる。その際、それら具体的方策が、総合政策学部の5つの基本方針と学部独自の基本理念の実現・遂行にどのように寄与するかについて、来年度の自己点検・評価でより具体的な記述が望まれる。

なお、特別委員からは以下の意見があった。

- 目標はよく整理されているが、この進捗報告は「それらは順調に推移している」と自己評価しているだけであるからコメントが難しい。情報スキルなどを有した即戦力の卒業生が育っていて就職状況も良いので自己評価が高くなっているのであろうか。
- 「2005自己点検・評価報告書」によれば、設定された目標に向けて教育内容・方法の面で積極的な取り組みが行なわれ、改善努力が図られてきていることがわかる。特に、英語のコミュニケーション能力の向上施策は力が入っていて、その成果が注目される。
- キャンパス・ミーティングは優れた試みでもあり、学部全体として改善への取り組みが感じられる。